

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | BRIDGE 3 | | 公表日 2026年 3月 31日 | | | |
|---------|----------|--|------------------|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 2 | 3 | なるべくスペースが出来るよう、簡易間仕切りを使用し支援を行っている。 | 簡易的な間仕切りの為、声や音が気になってしまう場合がある。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 1 | 配置数は適切である。1職員一人あたりの利用者さんの数には余裕がある。 | 1対1で対応しなければならない状態になった場合、人手がギリギリの状態になってしまう。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 1 | 4 | 階段に手すりや、フロアに段差が無い様に心掛けている。 | 2階に有り、階段も狭い関係から、利用者さんによっては来所に苦勞してしまう場合がある。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | 2 | 活動内容によって支援場所を変更している。また、毎日の掃除と消毒を行っている。 | 施設の内部が老朽化してきているため、こまめな修繕と改修が必要になってきている。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 1 | こどもの申し出により、対応職員に余裕がある限り利用できるようにしている。 | 対応職員の数によって、難しい日が出来てしまう。また、防犯上難しい点もある。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 1 | 面談や会議によって、個人の目標と事業所の目標を設定振り返りをおこなっている。 | 時間に限りがある時は、翌日や再調整してすることがあるため、迅速な動きに出来ない状態がある。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | 会議内等で、講評しながら次に活かせる努力をしている。 | こまめな対応による業務改善ができない場合がある。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | 保護者様の評価と同様、会議内等で、講評しながら次に活かせる努力をしている。 | こまめな対応による業務改善ができない場合がある。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | 外部からのスーパービジョンが入る機会がある | 定期的に、目つ頻度を多く参加や助言をいただけるよう検討し、努力していきたい。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | 1 | 特定の年数（新人研修）や各資格や職務によつての研修や勉強会を行っている。 | 回数的には多くは無いため、回数を増やす努力をしていきたい。 |
| 適 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | 1 | 支援内容など、その日に作成し公表している。 | 全ての保護者様が確認していただいている状態にないため、その辺りの促しと支援をしていきたい。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | 1 | その子のためのカンファレンスや事例検討会を定期的開催している。 | 定期的な物以外の、必要と思われるたびに迅速に行っていきたい。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 0 | 検討会を必要に応じて行っている。 | 継続的、目つ迅速に行っていきたい。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | 1 | 共有を行い、支援している。 | 継続的、目つ迅速に行っていきたい。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 1 | カンファレンス用紙を使い、いくつかの検査を独自に行い、活用している。 | 継続的、目つ迅速に行っていきたい。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 1 | 狙いを持ち、支援内容を意識しながら活動を行っている。 | 地域支援や連携に関しては、まだまだ努力できる点があると考えているため、対応を意識して計画していきたい。 |

| | | | | | | |
|--|--|---|---|----------------------------------|--|--|
| 切 な 支 援 の 提 供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | 0 | 利用者さんの課題の共通点などを探してアプローチしている。 | 時間や職員に限りがあるため、細やかな対応が出来ない時がある。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | 1 | ご利用者様にあったプログラムを随時考えている。 | 職員のポキャブラリーを多く出来る研修などを増やしていきたい。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 1 | 必ず個別と集団の活動を考え、利用者様にあった内容の支援を考え提供している。 | 時間や職員に限りがあるため、細やかな対応が出来ない時がある。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | ミーティングを朝と昼に行っており、活動内容の確認を行っている。 | 計画的に続けていきたい。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 1 | その日に振り返りを行う、難しい場合は次の日に必ず行っている。 | 送迎等で時間に限りがあり、次の日にまわさなくてはいけない点が課題。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 1 | 支援内容は、必ず記録をとって見直すことが出来る状態にしている。 | 必ずすべての職員が見直しできていない状態にあるため、徹底していきたい。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 0 | 定期的に行い、見直しをしている。 | 継続的、且つ必要に応じて迅速に行っていきたい。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 4 | 1 | 注意しながら、支援を行っている。 | 継続的に続けていきたい。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | 1 | 常に意思確認できるように、心掛けるようにしている。 | 継続的に続けていきたい。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | 1 | 定期的な物を含め、参加できている。 | 継続的に続けていきたい。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 1 | 常に意思確認できるように、心掛け対応している。 | 継続的に続けていきたい。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | 1 | 保護者様を通して、行事予定などを共有させて頂いている。また、適時保護者にその日の出来事等をお話させて頂いている。 | 継続的に続けていきたい。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 1 | 児童発達支援と情報を共有してもらい、現在の状況などを把握し、活かせるよう努力している。 | 全ての園などと共有が出来ていない点が課題。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | 2 | 現在、小学校4年生までのご利用のため、次のステップである障害福祉サービスとのつながりが直接は無い状態にある。 | 次のステップへの繋がりを、どのタイミングで行い、どのように事業所努力していくかを考えていきたい。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 2 | 不定期ではあるが、研修を受けている。 | 定期的に、且つ頻度を多く参加や助言をいただけるよう検討し、努力していきたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | 各施設の職員との情報交換を必要に応じて行っている。 | 子ども同士や活動を一緒にできていない。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 2 | 協議会の研修や意見交換会に、参加している。 | 地域の協議会への参加以外が少ないため、情報収集と参加努力を行っていきたい。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | 1 | 送迎などツールを使いながら、状況や課題などをお伝えさせて頂いている。 | 全ての保護者様が確認していただいている状態にないため、その辺りの促しと支援をしていきたい。 |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 1 | ご家族で参加できるイベントを行っている。 | 保護者会など、保護者様の横のつながりや情報交換が出来る場を提供していきたい。 | |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | 1 | 契約時、またはイベント等の内容や「ねらい」などをお伝えしている。 | 継続的に、分かりやすく続けていきたい。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--------------------------|---|--|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | 1 | 面談やアンケートを通し、意向やご希望を確認している。 | 子どもの意向をもう少しこまめに聞き取っていききたい。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | 1 | お話しをして、ご確認と同意を得ている。 | 細やかな説明を心掛けていきたい。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | 1 | 面談時などに、お話しさせていただいている。 | 寄り添う気持ちを大切に行っていききたい。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 3 | ご家族の参加できるイベントを提供させていただいている。 | 保護者同士での交流する時間を設けていきたい。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | 1 | 契約時に、窓口と対応職員のご説明をさせていただいている。 | 細やかな対応を続けていきたい。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 1 | わかりやすいイベントのチラシや広報を心掛けている。 | 細やかな対応を続けていきたい。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 1 | 外部に持ち出さないなど、情報も確認しながら管理している。 | 注意しながら、都度確認していききたい。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 1 | 都度、状態やおかれている状況などを考えながら行動している。 | 細やかな対応を続けていきたい。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 4 | | 外部に開いた行事などを模索して、開催していききたい。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 1 | 来所時に、常に見ていただける状態を作り、職員にも情報交換と共有と訓練を行っている。 | 全ての保護者様が確認していただいている状態にないため、その辺りの促しと支援をしていききたい。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 1 | 職員とも情報交換と共有と訓練を行っている。 | 全ての保護者様が確認していただいている状態にないため、その辺りの促しと支援をしていききたい。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 4 | 1 | 契約時や面談時に確認させていただき、職員と共有している。 | 細やかな対応を続けていきたい。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 1 | 契約時や面談時に確認させていただき、職員と共有し、対応している。 | 細やかな対応を続けていきたい。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 1 | 職員とも情報交換と共有と訓練を行っている。 | 全ての保護者様が確認していただいている状態にないため、その辺りの促しと支援をしていききたい。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 2 | 緊急避難場所等の共有と、警報時の対応などをツールを使い共有している。 | 全ての保護者様が確認していただいている状態にないため、その辺りの促しと支援をしていききたい。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 0 | 事業所内の職員と常に確認し、対応策を考え行動するようにしている。 | 迅速な対応を心掛けていきたい。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | 0 | 社内と事業所内で研修会を開き、情報共有と検討を行っている。 | 不定期な開催も盛り込んでいきたい。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | 0 | 契約時にお話しをし、都度検討とお伝えをしている。 | 改めて認識していただく機会を設けていきたい。 | |